

江川地区自然環境保全事業や

障害者へ市独自の支援など施策を報告

平成19年第1回定例市議会で、根本市長は、障害者への市独自の自立支援や江川地区の自然環境保全事業、行政改革、総合計画の見直しなどの進捗や施策を報告しました。本号では、その概要をお知らせします。

合併事業の進捗状況

◆新市の一体感の醸成
新市建設計画に基づく平成18

20年度の実施計画に28の合併関連事業を掲げ、すべての事業を実施中であり、18年度末で4事業が完了予定です。

合併特例債は、18年度3月補正ベースで20事業、16億3千690万円、19年度は18事業で15億7千320万円



市民農園予定地の復田が進む江川地区

4月2日「シニア世代」の地域参加に 総合相談窓口を開設

昭和22年から24年生まれの、いわゆる「団塊の世代」を中心に、55歳から65歳前後の「シニア世代」の方は、市内に約3万人います。市では、シニア世代の方々に、仕事で培った経験やノウハウを地域で活かしていただくことと、地域参加に関する総合相談をひとつの窓口で提供する「シニア世代地域参加相談窓口」を社会教育課に開設し、新たに専用相談室も設けました。

◎すべてのシニア世代を対象に

相談は、一般相談と専門相談があり、退職者や仕事を持ちながら地域参加したい方、自営業の方、専業主婦など、幅広く受け付けます。また、生涯学習やボランティア団体、各種講座などの情報を、市ホームページや相談窓口で提供します。

る相談や情報提供する
【開設日時】①月～金 8時30分～17時15分(予約不要)／②第1～4 9時～17時(前の週の金までに社会教育課へ電話予約)
【相談員】①市職員とボランティアセンター職員／②地域参加経験者(シニア相談員)
◆専門相談Ⅱ将来への不安なく第二の人生を生きがいをもって送れるようライフプランなどを専門相談員が対応
【開設日時】第2・4 9時～16時(その週の月までに社会教育課へ電話予約)
【問合せ】社会教育課

の発行を予定しています。

◆まめバス

運行開始からの利用者が1月20日に延べ80万人に達しました。運行計画の見直しは、バス車両を2台増車し、(仮称)新北ルート、新南ルートの2ルートを新設して各1台を投入し、中ルートの一部を変更するものです。

なお、関宿中央ターミナルのバスシェルターの設置と運行計画変更に伴う経費を当初予算案に計上しています。19年度中のできる限り早い時期に運行を開始します。

都市基盤・駅周辺の整備

◆土地区画整理事業

台町東地区は、再建方針に沿って今後とも関係3者が協力して販売に努め、事業の早期完了に向けて努力していきます。調整池の用地費と築造費に対する地区外流入分の流域面積按分による負担は、年次計画により支出することとし、当初予算案に計上しています。

次木親野井地区は、進捗率が事業費ベースで約92パーセントとなります。残工事は、合併特例債などを活用しながら整備を計画的に進めていきます。

なお、保留地処分方針を19年度中に決定し実施していく所存です。座生三地区のうち清水公園駅東

地区と座生地区は、3月末までに組合を解散し、19年度から清算事務に入る予定です。七光台駅西地区は、既に500戸近くを分譲し、再建計画どおりの進捗です。

花井東地区は、20年度の換地処分に向け、換地計画の作業に入ります。

◆駅周辺の整備

野田市駅西地区は、昨年事業認可を受け事業に着手し、現在、地質調査、実施設計を行っています。19年度は、引き続き実施設計を行うほか、各種測量業務、減価補償金による公共施設用地の先行買収を行う予定です。

梅郷駅西地区は、橋上駅化和自由通路の供用開始に合わせ、19年5月末に暫定形で駅前広場の供用を開始し、9月末には完成形で供用したいと考えています。

また、一部未整備である西駅前線の築造工事を実施いたします。

連続立体交差事業は、17年に都市計画決定を行い、現在県が事業認可に関し、関係機関と協議を進めています。19年度は、引き続き鉄道構造物の実施設計を行い、また、仮線借地に係る物件調査、用地測量などを進める計画と聞いています。

七光台駅東西連絡自由通路と橋上駅舎は、2月28日から供用を開始しています。